

# 睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査が出来ます

睡眠中に、一定の頻度以上で無呼吸状態になってしまう病気を睡眠時無呼吸症候群と言います。当院では、自宅で出来る睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査を導入することになりました。

## 症状

いびき、夜間の頻尿、朝起きた時に寝た気がしない、日中の眠気などを認めます  
日中の眠気は仕事時の作業効率の低下や居眠り運転などに繋がります

## 発症のメカニズム

空気の通り道である上気道が狭くなるのが原因です。首周りの脂肪の沈着が多いと上気道は狭くなりやすいため、肥満は病気と深く関係しています。その他に扁桃肥大、舌が大きいこと、鼻中隔湾曲といった鼻の病気も原因となります。顎の後退や顎が小さいことも SAS の原因となるため、肥満でなくても SAS になることはあります。

## 病気を放置した場合の合併症について

眠っていても呼吸が止まると、体全体の酸素が足りなくなります。すると、心臓は起きているとき以上に一生懸命頑張るので、血圧も脈拍も上がります。こうした状態を放置しておく、高血圧から動脈硬化を引き起こし、結果として脳卒中や心筋梗塞などを引き起こす頻度が約3~4倍上昇すると言われてしています。

## 検査方法

TEIJIN という会社から自宅に検査機器が送られてくるので、自宅で検査が出来ます

## 治療方法

- ・肥満による気道の閉塞が原因と思われる場合は減量指導と生活習慣の改善
- ・マウスピースを使用しての睡眠
- ・経鼻的持続陽圧呼吸法(CPAP)という睡眠中に装着するマスクの導入

下記のような症状でお困りの方、検査の興味のある方は外来でお申し出ください！

